

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 はちふく・ねっと.....
代表者・役職名 小澤 邦博・理事長

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

高齢者世帯の住環境見守りボランティア育成講座

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2007年、医療・福祉・建築の知識を問う福祉住環境コーディネーター試験に合格した人たちのフォローアップとその知識を活かして社会貢献のできる場を作るために勉強会を立ち上げたところ、八王子市福祉課から協働の提案があり2011年5月法人化に至りました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

日本は4人に1人が高齢者という時代を迎え、現在でも不足気味の高齢者施設は団塊世代の入居などほとんど不可能になります。結果的には在宅での生活を余儀なくされますが、既存の住宅は沢山の段差や狭さの問題で高齢者や障害者には危険が多くとても生活しにくい状態です。また、介護保険制度の住宅改修についても殆どの人が知識が不足しています。高齢者の在宅生活が飛躍的に増加しつつある現状を見ますと、安心・安全・快適に生活する為の知識は必ず必要とされると確信しています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

高齢者(単身、夫婦世帯)が「家の中の不便さや危険について相談したいが、身近で気軽に相談できる人が見当たらない」という状況の改善に取組みます。具体的には、高齢社会の住環境問題に関心のあるボランティア希望者に対して「家庭内事故の原因や予防法、及び介護保険制度や正しい改修方法等」についての講座を開催し、安心・安全な住まいについて近隣の高齢者に助言ができる住環境ボランティアを50名、サポーター50名、計100名の育成を目指しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

見守りサポーター育成講座は平成28年4月から12月まで9回の開催で受講者58名となりました。内容については高齢社会の住環境問題の基礎的な事でしたが参加者の多くが周辺の人にも伝えたいと意欲的でした。また、見守りボランティア育成講座は平成29年1月29日に開催し受講者は39名となりました。主に福祉住環境コーディネーターの有資格者やサポーター講座の受講者が参加しました。変化の激しい介護保険制度や効果的な住宅改修の事例などを学び、現在、私達が直面している高齢社会における住宅問題を共有する事ができました。今後は夫々の地域で高齢者に対して住環境の観点から寄り添い見守りをしていきます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

ボランティア育成講座の開催時期が1月下旬の一回のみ、とした為に学生が学業多忙のため参加希望がありながら参加できないケースが多くありました。今後、若者の地域ボランティアも増やして行きたいので開催時期を再検討し、年に2回程度の開催にしたいと思います。また、福祉住環境コーディネーターの有資格者を更に掘り起こし、住環境見守りボランティアとしての活動を定着させる事で家庭内事故の減少に繋げて行きたいと考えています。更に見守りサポーター講座を今後も継続する事で高齢者自身の住環境整備への関心を高めて行きたいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

・チラシ2枚

・写真2枚

安全な住まいで



健康寿命を守る！

寝たきりに繋がる家庭内事故が増えています！

住み慣れた我が家で安全に暮らし続けるためには、身近な日常の危険に気付いて暮らし方を見直すことがとても大切です。家庭内事故はちょっとした工夫や注意で防ぐ事ができます。

講座内容	<ul style="list-style-type: none">・住み慣れた我が家で事故に遭わないための危険度チェック！・自分にとって本当に必要な住宅改修とは？ 他
申込条件	多摩地域に居住又は勤務、通学されている方がいて、住まいの安全に興味のある原則5人以上のグループ
申込方法	裏面の申込書に必要事項をご記入の上、原則として2週間前までに下記の申込先までFAXを送付してください（FAXが無い場合は電話でも可）
受付期間	平成28年5月1日～平成28年11月30日まで
開催期間	平成28年5月15日～平成28年12月15日まで（土日可） 講演開始時間：13：00～19：00の間（内容45分程度）
会場	<ul style="list-style-type: none">・自治会館などの団体活動場所、又は個人宅など、ご希望の場所に伺います・会場が未定の方は、申込時に事務局にご相談下さい
講師	NPO法人はちふく・ねっと専任講師 福祉住環境コーディネーター・一級建築士・介護支援専門相談員・社会福祉士等の経験豊富な相談員が伺います（お住まいについてのご相談も受け付けます）
その他	<ul style="list-style-type: none">・会場設営、片付け等は申込者が行ってください・実施回数8回（先着順）・受講料（資料含む）は無料です・ご希望の方には裏面にあるミニイベントをご用意いたします
連絡先	申込み FAX 042-651-1374 問合せ TEL 042-651-7519

無料講座

主催・NPO法人 はちふく・ねっと

福祉住環境コーディネーター ブラッシュアップ↑講座

福祉住環境の知識を活かして更に活躍の場を広げませんか！？

超高齢社会の住宅問題のキーパーソンとして大いに活躍が期待される福祉住環境コーディネーターの皆様や福祉住環境に興味をお持ちの方を対象に最新の介護福祉情報と実際の施工例などを解説し、皆様の知識に磨きをかけて頂く為の総合講座です。既に福祉住環境コーディネーターの方や、これから資格にトライする方にもお勧めの講座です。興味をお持ちの方は奮ってご参加ください！

日時 平成29年1月29日(日) 13:30~16:30

会場 クリエイトホール 10階 第2学習室

定員 50名(先着順)

参加費 500円(資料代)



講座概要 (講師・小澤邦博氏、岩崎慶一氏、NPO法人はちふくねっと専任講師)

- ① 介護保険の基礎知識・福祉用具貸与と住宅改修
- ② 高齢者や障がい者の疾患と障害特性
- ③ 疾患・障害別の住環境整備のポイント
- ④ 介護保険の住宅改修の基本技術・部屋別・場所別の改修ポイント・改修の事例

申し込み方法 (以下のいずれかの方法でお申し込みください)

1. 裏面の申し込み用紙に必要事項を書き込んでFAXで送る
2. メールに住所、氏名、電話番号を明記の上「1月29日講座希望」と書いて送る
3. 電話で申し込む(平日9:00~19:00)

*留守電の場合は「1月29日講座希望・氏名・電話番号」お伝えください

FAX 042-651-1374 **電話** 042-651-7519

メール hachifuku@onihiro720.com **はちふく・ねっと事務局**

主催 NPO法人 はちふく・ねっと

当会は、福祉・医療・建築の各分野の専門家がチームとなって、高齢者や障がい者の住環境の改善に取り組み、住み慣れた我が家での暮らしを維持するお手伝いをしています。